

令和6年度  
自己評価報告書  
資料

大田区立池上第二小学校

【1】未来を創造的に  
生きる力の育成

①課題解決力や新たな価値を創造する力の育成



6年生が独自教科「おおたの未来づくり」の取組で、PTA会長から「学校のPR動画」の制作依頼を受けています。動画制作は「おはスタ」の収録で来校した映像作成スタッフに授業パートナーになっていただき御指導いただきました。

## ②自ら考え判断する力や他者と協働する力の育成



五年生が独自教科「おおたの未来づくり」の取組で「理想の公園」について調べて考えました。地域で造園業や公園管理を営むCS委員や大学で空間デザイン等の教鞭をとる地域住民の方に授業パートナーになっていただき、手づくりした公園の模型を基に助言をいただきました。

【1】未来を創造的に  
生きる力の育成

【1】 未来を創造的に  
生きる力の育成

③情報活用能力の育成



企業・大学の協力を得て、6年生がドローンの飛行をプログラミングし飛行実験をしました。児童は障害物の高さや距離を実測して結果をタブレット端末に入力し、飛行ルートを作成しました。5年生はE X P O出展企業の出前授業で、A Iを活用した商品デザインの作成を体験しました。

## ①英語力や豊かな国際感覚の育成



1年生から授業の開始にはフォニックスを取り入れて、英語の読み書きに自然に慣れ親しむようにしています。



6年生では「イングリッシュ・キャラバン」に応募し、来校した5か国のネイティブとアクティビティをしながらコミュニケーションを楽しみました。反応がとて面白い！と褒めていただきました。

【2】国際都市おたを担う人材の育成

## ②相手を理解し尊重し合う心の育成

# 【2】国際都市おたを担う人材の育成



2年生では、地域の高齢者の皆様に御来校いただき、一緒に昔遊びを楽しんだり給食を食べてふれあいました。

5年生では、目隠しをして白状を使って歩いたり、車椅子に乗ったりして障がいを経験しました。

自分とは違う様々な他者とふれあう中で多様性への理解を深め、互いを大切に思う心を育んでいます。

### ③SDGsについて考え、行動する力の育成

## 【2】国際都市をおたを担う人材の育成



4年生は、社会科見学で東京湾クルーズを楽しむとともに、中央防波堤の埋め立て処分場に行き、未来のためにごみを出さない生活をしていく必要性について実感を伴って学んでいました。

6年生は、社会科見学で国会に行き、デジタル大臣から、未来に向けて、世界の中で日本の果たす役割などの話をうかがいました。今、自分たちがしておくといことも教えていただきました。



個性と能力を發揮する力  
【3】一人ひとりが

## ①豊かな情操や道徳心の育成

各学期の第1週日は  
教員から児童へのエール週間

道徳の授業を同学年の教員が  
全学級で実施することで、  
多様な児童理解と授業改善  
を実施



「おはなしクレヨン」による全学年での読み聞かせの実施

個性と能力を発揮する力  
【3】一人ひとりが

## ②すべてのこどもに確かな学力

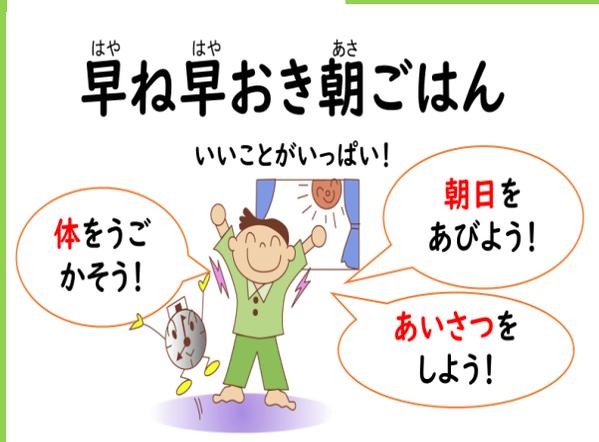


コミュニティ・スクールの取組で、夏休みに3年生の希望者を対象に「九九マスター教室」を実施しました。こどもたちは手厚く温かい御指導のおかげで九九の定着を図ることができ、自信と意欲につながりました。

個性と能力を発揮する力

【3】一人ひとりが

③基本的な生活習慣の確立



朝ごはんを食べて目覚ましスイッチをオン!

体のスイッチ 体温を上げ、元気に活動でき、体力や運動能力を向上させる。

頭(脳)のスイッチ やる気や集中力を高め、学習能力を向上させる。

おなかのスイッチ 胃や腸が動き出し、体調を整えやすくなる。

令和6年度(4月)

あいさつレベルアップ作戦!

★毎日、かならず一人以上に「あいさつ」する

	がっこう	いえ	ちいき
4/10	379	381	320
4/11	420	419	391
4/12	439	440	401
	+60	+59	+61

- 「あいさつ」各学期はじめに重点的に学級で目標をたてて取り組みます。
- 「外あそび」を推奨し、ロング昼休みや友だちひろばの取組をしています。
- 「早ね・早おき・朝ごはん + ピカピカ歯みがき & ストレッチ」を年2回旬間として実施しています。



## ④保幼小の連携や小中一貫の教育

個性と能力を発揮する力  
【3】一人ひとりが



小中一貫教育の日（年4回）  
大森第四中学校・池上小学校の教員  
とともに学習や生活指導の話し合い

- 幼児教育センターから、週1度派遣の先生が来校し、1年生の教室で指導・支援してくださいました。
- 幼稚園の年長児が来校し、1年生と交流しました。タブレットや教科書を見せながら学校紹介をしました。



個性と能力を発揮する力  
【3】一人ひとりが

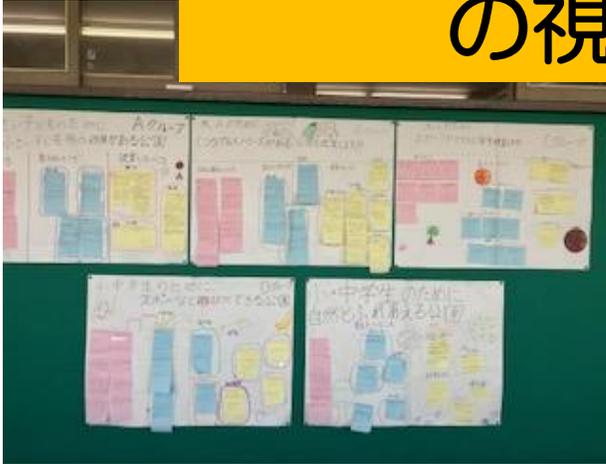
## ②すべてのこどもに確かな学力



コミュニティ・スクールの取組で、夏休みに3年生の希望者を対象に「九九マスター教室」を実施しました。こどもたちは手厚く温かい御指導のおかげで九九の定着を図ることができ、自信と意欲につながりました。

# 【4】学校力 教師力の向上

## ①個別最適な学びと協働的な学び の視点による授業改善



●校内研究では、一人ひとりが自分の考えをもって互いに交流することで高め合ったり、「個々の興味関心や得意分野を生かした共同活動を推進したりして授業改善を図りました。

●保護者に学校公開後に同項目のアンケートを実施し、結果を授業改善に生かしました。

●各学期1度、全教員が授業改善のために指導案を作成し、管理職による授業観察を実施。授業後に指導面談を行い、授業改善について話し合っています。

**ICT授業利活用事例**

学校名	大田区立池上第二小学校				ICTサポーター
区分	小学校	学年	1年	実施時期	1月
教科等	国語	単元名	かたかなの かたち	授業時間	1年3組教室
実施のツール・コンテンツ	ムーブノート		資料集	発行回数	
ICT機器	学習者用タブレット、教員用タブレット、電子黒板		回数	全3授業の1授業目	

**！本時の内容**

ねらい 甲斐直と関係づけで仮名を覚えたり、形の内音仮名に注意しついでに音仮名を覚えること。

展開までの活動

授業準備 教科書、かたかな練習ノート、フラッシュカード

過程・時間配分	学習活動	学習形態	指導イメージ・写真・ワークシート等
【導入】 5分	1 教科書開きの仮名と音仮名を見比べて、知っているところと違うところを話し合う。(ICT活用) 電子黒板に投影	一斉	学習活動1
【展開】 15分	2 違うところに注意しながら、片仮名と音仮名をノートに書く。 めあて 「知っているところ」と「わがやるところ」を見つける。	一斉	学習活動2
	3 教科書開きの仮名を見比べて、知っているところと違うところを見つける。(ICT活用) chromaooのムーブノートを使って音仮名を書き付ける。	個別	学習活動3
【中核】 15分	4 教科書開きの仮名を見比べて、知っているところと違うところを話し合う。	一斉	学習活動4
	5 違うところに注意しながら、形の内音仮名をノートに書く。	一斉	学習活動5
【まとめ】 15分	6 教科書開きの25-26ページを読み、知っている音仮名を指さす。	一斉	

**！授業の振り返り**

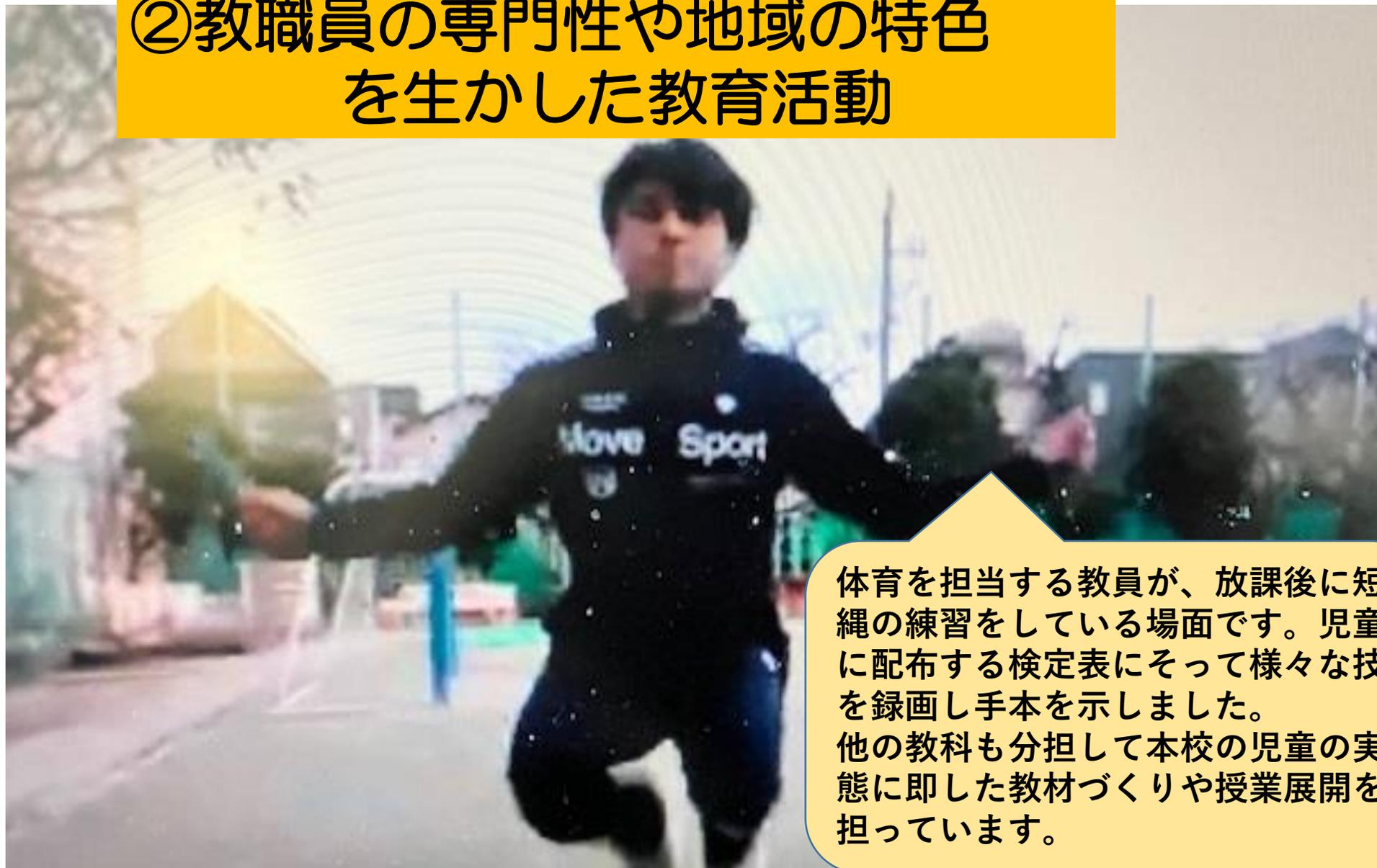
◆教師の感想  
- カタカナのフラッシュカードを導入や使用したことで、児童が興味をもって学習に入ることができた。学習活動1で電子黒板に投影する際は、黒板に写る部分のキャプション機能を使って1文字ずつ提示したことで、より確実に知っているところと違うところを見つけることができた。「知っているところ」は赤、「わがやるところ」は青。「わがやるところ」は赤色に色分けして電子黒板に投影された文字の位置を確認することで、視覚的にも覚えやすかった。

◆児童の様子  
- 「知っているところ」「わがやるところ」を見つける活動は、全員が積極的に参加していた。いつも授業中に活発な発言も、たくさん手を挙げて積極的に参加する姿が見られた。ムーブノートの使い方も少しずつ身につけてきた。授業後配布のカードを見ながら考えを広げることができた。授業後は、文字の形に気を付けながら正しくカタカナやひらがなを書く様子が見られた。

19年11月1日 池上第二小学校教員

【4】学校力  
教師力の向上

②教職員の専門性や地域の特色  
を生かした教育活動



体育を担当する教員が、放課後に短縄の練習をしている場面です。児童に配布する検定表にそって様々な技を録画し手本を示しました。他の教科も分担して本校の児童の実態に即した教材づくりや授業展開を担っています。

【4】学校力  
教師力の向上

③教員が児童に向き合う時間の確保など  
ウェルビーイングを高める取組

教員の最終退勤時刻を20時目途とし、20時過ぎが連続した場合は、業務支援を行っています。

学年担任制・副担任制を推進することで、業務の共有化・効率化を図っています。

教職3年目までの若手教員に、年齢の近い教員をメンター・メンティーとしてペアリングし相談しやすい関係づくりをしています。

今後はコミュニティ・スクールを活用し、地域や保護者の有志の方に学習ボランティアを担っていただけるようにすすめていきたいです。

# ①インクルーシブ教育の構築に向けて

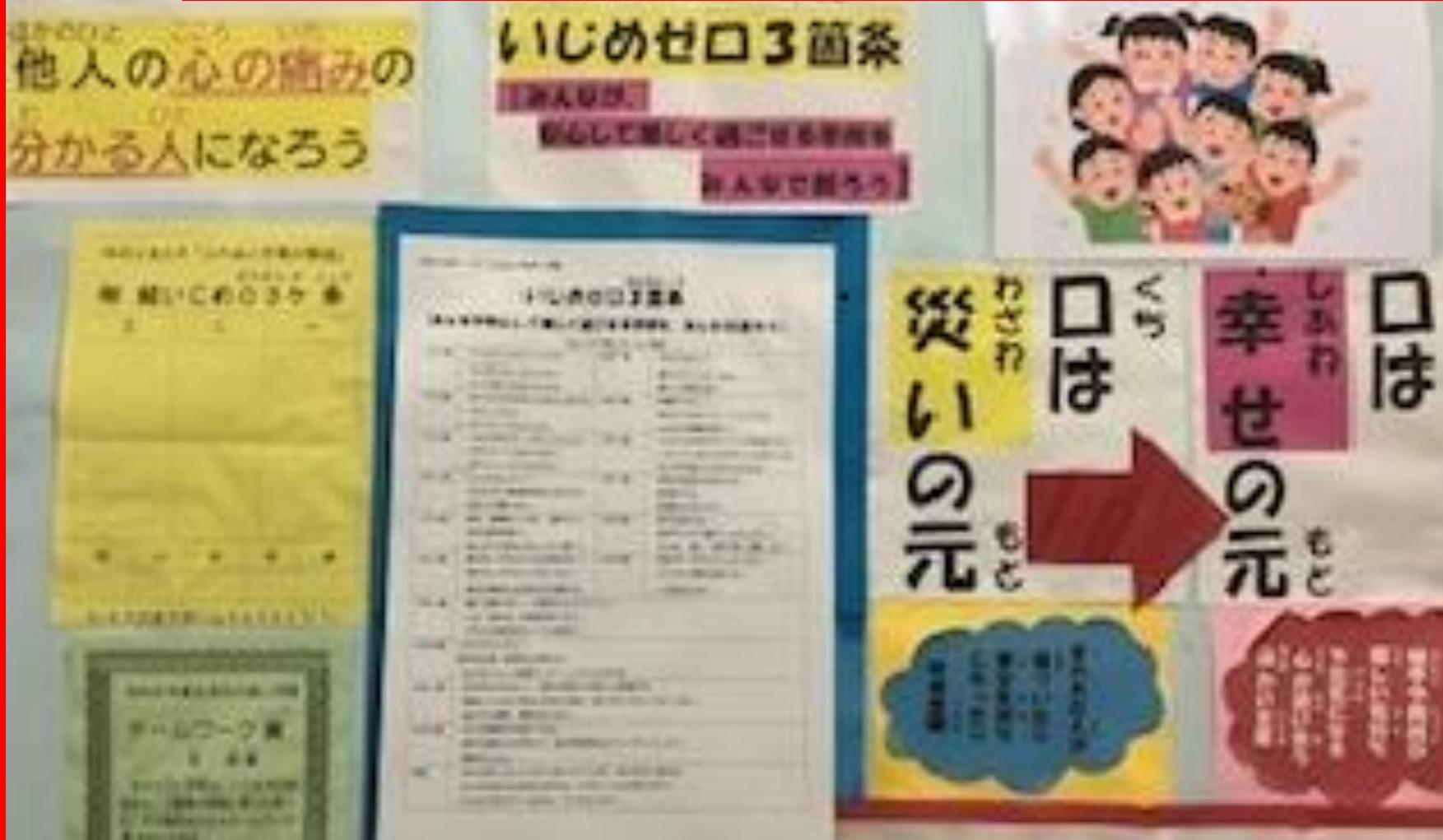


【ほっとルーム  
の環境整備】

【5】自分らしく生きる  
ための学びの支援

## ② 「いじめ防止」のための組織的な対応

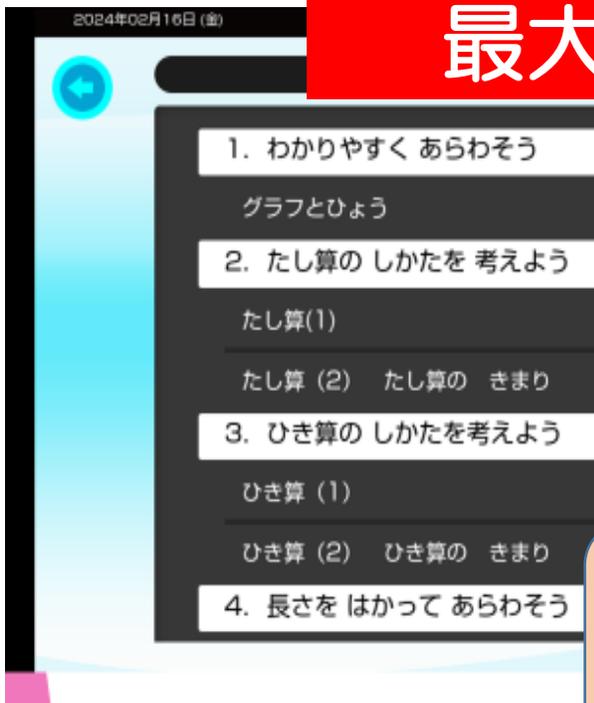
【5】 自分らしく生きるための学びの支援



年3回、全校で「いじめゼロ3箇条」を実施。  
各クラスの目標を決めて全校朝会で宣言し、毎日振り返りをしながら2週間にわたり継続

【5】自分らしく生きるための学びの支援

③一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす指導や支援



- 学習者用タブレット端末を活用し、一人ひとりの習熟や震度に合わせた個別学習の実施
- 中規模校を生かした全校行事や伊学年交流の実施により上級生へのリスペクトや下級生への思いやりの心情を育む
- 週末には、全学級で一人ひとりの学習の状況や興味関心に応じたセレクト学習の実施 →今週のピカイチの掲示

- 児童アンケートを学期に1回実施し、児童理解に努め指導に反映させるととも年度途中で学校運営を見直して修正等を実施
- WebQUの結果をもとに、各学級でアクションプランを実施し、よりよい学級づくりの推進

- スクールカウンセラーの積極的な活用を推進  
→今年度の相談件数は、1月末現在のべ829件
- 特別支援学級や特別支援教室では、一人ひとりにカスタマイズした指導を推進  
→サポートルーム利用児童は今年度新規10名を含む26名



安全・安心な学習環境整備  
【6】創造的な学習空間と

①学校や地域の特色を踏まえた  
学習環境を整備



- 図書室から一番遠い場所に読書コーナーがあります。図書ボランティアにより、定期的に学習に関する図書が展示され、休み時間に読むことができます。
- 第一学習室の後方に、算数的活動ができるコーナーをつくりました。遊びながら算数的な感覚や量感を養います。

## ②危険や災害に対する教育を 関係機関と連携して実施



コミュニティ・スクールの協議会の中で、地域の防災訓練等への児童の参加・協力の要請を受けました。おやじの会主催の夏休みの防災訓練に参加した6年生有志が、訓練に参加した地域の皆様に仮設トイレの設置について説明・実演をさせていただきました。

【7】地域社会全体で  
こどもたちを育成

①地域と学校が連携・協働した  
様々な活動の実施



「呑川の会」と連携し、2年生と5組がつくった鯉のぼりを、毎年GWの呑川に飾っています。今年の1月に大田区の「町づくり景観賞」を受賞しました。

4年生は太田神社の灯籠絵を描いたり、5年生は「ふれあいコンサート」で合唱を披露したり、6年生は「池上文化センターまつり」に絵画作品を展示したりしています。また、池上図書館には期間限定で全学年の代表児童によるお薦め本のコーナーも設置していただきました。

【7】地域社会全体で  
こどもたちを育成

②児童の健全育成や安全指導の取組を  
地域の協力により実施



PTAや地域の皆様により、日頃から登下校や帰宅時刻の見守り・パトロール等を実施していただいています。3学期開始頃、学校に不審者情報が届いた際には、急遽、大勢の保護者の皆様が児童の登下校に付き添ったり、3町会有から有志の皆様が下校時間に合わせて参集したりしてくださいました。

【7】地域社会全体で  
こどもたちを育成

### ③家庭教育に関する情報発信や PTA等と連携した取組の実施



学校公開に合わせて道徳授業地区公開講座や体育健康講座を開催しています。またSNSルールの講習会や学校保健委員会も実施し、児童の健全育成のために情報発信や情報共有に努めています。

写真は、姿勢について児童とともに保護者の方も一緒に学んでいただいた取組です。

PTA・おやじの会主催で夏休みに「お泊り防災訓練体験」を実施しています。地域の消防団や消防署の協力も得て、防災について体験的に学ぶことができます。町会主催の祭りやラジオ体操にもたくさんの児童が参加できるよう周知に努めています。

